釣って食って笑って盛り上がりましょう！
「酔いどれB級グルメ」略して……

# Bヴル★レンジャー

※隔号連載
1日号掲載

## 大好きななライトアジ。ウキウキしてたら上野で職務質問

今回のお題は夏休み真っただ中の子供たちも楽しめるライトアジ。いきなり話は変わるけど、読者の皆さんは夏休みの宿題って、毎日ちゃんとやってましたっ？　オイラは当然後回し派。

毎年8月31日は恐怖の一日になって、眠い目をこすりながらロクに読んでもない本の読書感想文をでっち上げたり、スゲーいい加減な年表とか作って先生に怒られたりしてたっけ。

**釣り過ぎレンジャー　三石忍**（みついしのぶ）
タチウオや食わせのフグ、最近じゃマルイカやカワハギでもスゴ腕の女釣り師。「ヤツがくるとオレ、自信なくすんだよね」とは情けない隊長の言。

**キャバレンジャー　谷部信幸**（やべのぶゆき）
隊長の悪友でスキあらば飲んだくれる40歳。地元鹿島の飲み仲間でキャバクラ調査戦隊「キャバレンジャー」を結成。レッドなんだって（実話）。

**できすぎレンジャー　釜井昌二**（かまいしょうじ）
本誌ＡＰＣの釣り好きサラリーマン。釣りも料理もそつなくこなす「できる人」。最もまっとうな好人物で、釜ちゃんを隊長にしたら、という意見も。

**隊長ノブレンジャー　竹田信彦**（たけだ のぶひこ）
連載を通じてすっかり沖釣りにハマったが物覚えが悪く、まるで上達しない酔っぱライター。ホッピーと煮込みを定期的に摂取しないと死んでしまう40歳。

出動！★その5 Bgour★Ranger

## 長浦沖の午後ライトアジで夏休みぃ〜♪の巻

### 東京湾奥長浦のこなや丸にて

写真／文◎基本的に竹田 信彦

◀港から出てすぐのバース周りでまったりとスタート。沖に出るわけじゃないので船酔いの心配もなしです

んで、ふと思ったのが、「なんだ、今もな〜んにも変わってないじゃん」ということ。

締め切りギリギリ、あるいはオーバーしないと何もやらない性格は子供のころに形成されたんだということに気がつきました。編集部様、今回も入稿が遅くなってゴメンナサイです。

そんな話はさておき、今回お世話になったのは長浦のこなや丸さん。ルアーのタチウオのほか今期はアジの模様もよく、午後船で連日好釣果が出ているとか。昨年と比べるとサイズが一回りも二回りもよく、30号のビシ釣りで、ジャンジャンだそう。アジ好きのオイラは釣行前からウキウキで、ニコニコ（ニヤニヤだろ）しながら上野駅を歩いていたら、おまわりさんに職務質問されました。なぜ？（日本の治安はまだ大丈夫ってことだ）

さて、今回のレンジャーは、いっつも隣でジャンジャン釣りまくってオイラを威嚇する、富津の釣り過ぎレンジャー（以下シノブちゃん）を召集。

「たまには、オジサンも子供たちと遊びたい」と言ったら、仕事先の娘さんである中学1年の佐久間優明ちゃん（以下ユーミンちゃん）を連れてきてくれた。

7月23日、10名のお客さんを乗せ、午後1時に長浦港を出船。ポイントは近いと聞いていたが、本当に至近で10分も走らずに水深6メートルのバース周りで釣り開始となった。

ここはひとつ、ダンディーなオジサンを演じるべく、アジ釣りは初めてというユーミンちゃんの仕掛けをセットしようとしたら、

「隊長ダメ、ひとりでやらせて。そうじゃなきゃ覚えないから。それに隊長はダメオヤジってことバラしてあるから、そんなこととして点数稼いでもムダだよ」とシノブちゃん。

ううっ、なんてヤツ！

「怖いオバちゃんだね」と小声でユーミンちゃんに言ったら、釣りのウデ同様に耳もいいのか、

▲最初はエサ付け戸惑っていたユーミンちゃんだけど、すぐにクリアー。隊長の10倍はスジがいいようです





★次号の『つり情報』は9月1日(火曜日)発売です！

★ワンポイントアドバイス Advice

### タナ取りを間違えないことが大切

ビシアジはタナ取りを間違えないことが大切。といっても、船長がアナウンスする底からのタナを探れば（今回は底から1〜3メートル）いいから、決して難しいことじゃありません。子供には、

「オモリが底に着いたら、リールを○回巻いて、竿を2〜3回シャクって待ちなさい」と教えればＯＫ。

子供って釣れるとなればものすごい集中力で、その指示に従います。ま、隊長みたいに何度言っても学習しないヤツもいますが、それは個性ということで……。

▲コツをつかんだユーミンちゃんは25センチオーバーの良型もキャッチ。同じころ隊長は……次ページを見よ

▲富津の釣り過ぎレンジャーも連続するアタリに大興奮。この日も釣りまくる

◀子供も十分に楽しめるので、ファミリーフィッシングにイチオシ！

▶隊長の1尾目はなぜだかシロギス。ついにアジにも見放されたか？

◀子供用の仕掛けは手前マツリを避けるためにハリ数を1〜2本にするのがおすすめ

▲ヒットするアジは20センチ級が中心。丸まるとしていて、実においしそう

## ユーミンちゃん25センチオーバーゲット タマヅメは入れ食い！

釣り開始からほどなくして、20センチ級のアジがポツポツと上がる。釣れるアジはどれも金色に輝き体高があって実にうまそう。タタキと芋焼酎のロックでキューッとやったら……と思うと、たまらない。

ユーミンちゃんは最初は戸惑っていたけど、すぐに初めてのアジをキャッチ。しばらくして25センチオーバーの良型もキャッチしてニッコニコ。実にいい笑顔を見せてくれやした。

般若のような顔で睨まれてしまった。お〜怖い、怖い（本当に馬鹿だな、ノブ……）。

その後もポツポツながら20センチ前後のアジが釣れ続き、当然シノブちゃんも釣りまくる。

ひととおり写真を撮り終えたところで、オイラも竿を出す。

すぐにキュキュンときたが、なぜかシロギスで、

「今日はアジ釣りだよ、隊長」とシノブちゃんにヤジられ、ユーミンちゃんにプッと笑われてしまった。

さらにリールの巻き心地が変だなぁ、なんて思っていたら、なんとボロッとハンドルが取れてしまい2人は大笑い。

嗚呼……ダンディなオジサン像が……「ゲッツ！」とかやっておこうか（やっぱりこうきたか。でも、ドロ沼だぞ）。

日が沈みかけてくると風が実に気持ちいい。夕涼みを楽しみながら糸を垂れるなんて、粋でぜいたくじゃありませんか。午後船ならではの魅力ですな。

小沢船長によると、タマヅメが最大のチャンスとのことで、この日も期待していたら、本当にスゴイことになった。

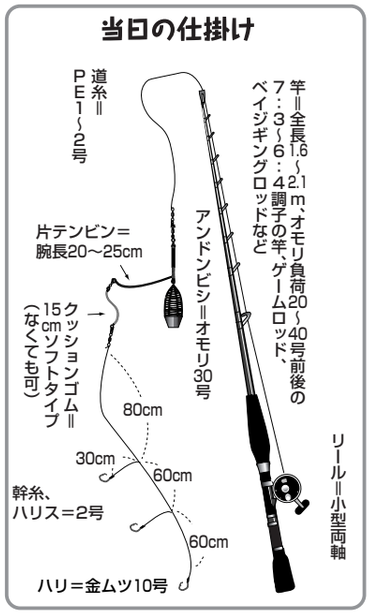
あたりが暗くなる前に移動した水深9メートルのポイントでアンカーを打って、のんびり釣っていると、どんどん食いが上向いてきてまさに入れ食い状態。

仕掛けを投入して、コマセを振り出すと、すぐにブルルッときて、ハリの数だけアジが掛かってくる。

楽しくてしょうがなく、みんな夢中になってアジを釣りまくる。ユーミンちゃんは相当スジがいいらしく、後半は2本バリ仕掛けを絡ませることなくアジを釣りまくり。小沢船長も、

「初めてなのにあの子スゴイで

### 当日の仕掛け

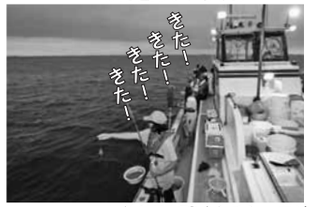


釣って食って笑って盛り上がりましょう！
『釣りとB級グルメ』編で……
# Bグルレンジャー

▲腰に手をあて、釣りオヤジのごとく栄養ドリンクを飲む釣り過ぎレンジャー。たぶん……は、捨てたのであろう（バカッ、怒られるだろがっ）

▲リールのハンドルが取れちゃって、悲惨な顔をしていた。何やってんだか……

▲後半は食いが立ち、隊長も釣りまくり。ユーミンちゃん、また遊んでやってね



▲あたりが暗くなると、アジの活性が上がり入れ食いに突入～！

▲小学校3年生の榎本龍一くんもコツをつかんでジャンジャンでした。笑顔が輝いてます

▲入れ食いは沖揚がりまで続き、皆、大満足でした

◀アジはのど元を切って血抜きしてから持ち帰るとより一層おいしく食べられます

すねぇ」と、しきりに感心していた。子供ってスポンジ並みの吸収力なんですなぁ。

一方、オイラの釣り座にはグチャグチャになった何組もの仕掛けがこんもり……。チラッとオイラの釣り座を見た小沢船長の顔が、なんとも印象的でありました。

この入れ食いは沖揚がりの6時30分まで続き、皆、大満足での帰港となりやした。

釣果は15～25センチのアジがトップの人で112尾。シノブちゃんは77尾、オイラとユーミンちゃんは仲よく40尾。

それにしてもアジの活性が上がるタマヅメを狙えるのは、涼しくて快適だし、釣れるし、ありがたいことでありますなぁ。まだ帰ってきたばかりだけど、もう行きたくなってるよ。

**子供には1～2本 パリ仕掛けがおすすめ。長浦沖のアジは期待大**

それとシノブちゃんが言ってたけど、手前マツリを防ぐ意味で子供用の仕掛けは2本か1本パリにしちゃうといいそうであります。

それでも絡む場合はハリスを短くしてあげると、仕掛けが絡むことなく手返しよく釣れて、子供も大喜びだそう。

うーむ、さすがは子供釣り教室などで、先生をやったりすることも多いシノブちゃん。いいこと言ってくれます。

一応はフィッシングライターのくせに、皆様のタメになるようなことはほとんど書けず、酒ネタと戯れ言だけで4年もこの連載をやっているオイラとは大違いであります。

さて今後でありますが、小沢船長に聞いたところ、10月まではこんな感じで楽しめるでしょうとのこと。

釣り方のコツは、船長が指示するタナを間違えないようにするのが最大のポイント。

あとは、キュキュンと竿を振ってコマセを振り出し、少し待っていると釣れちゃいます。

夏休みのファミリーフィッシングにピッタリの午後ライトアジ。ぜひみんなで、出かけて楽しんでくだされ！


INFORMATION

東京湾奥 長浦 **こなや丸**

☎0438・62・2707

（詳細は巻末の情報欄参照）

▶料金＝午後ライトアジ乗合1人7500円、女性5500円、中学生以下3500円（氷、エサ、コマセ付き）▶備考＝午後1時出船。レンタルタックル500円。仕掛けの販売あり。火曜定休。館山自動車道・姉崎IC下車、R16を木更津方面へ。

小沢 一滋船長


## こなや丸の午後ライトアジはクーラーボックス1個あればOK

簡単、よく釣れる、食べても美味と三拍子そろったライトビシアジはファミリー釣行にピッタリ。こなや丸ではレンタルタックルを500円で借りられるし、オモリ30号のアンドンビシとテンビンも貸してくれる（なくした場合は1500円）ので、家族分のタックルがなくても大丈夫。クーラーボックス1個あればOKなので、気軽に出かけてほしい。

ちなみに当日、初めてアジ釣りに挑戦したユーミンちゃんもレンタルタックル。んで、釣果は隊長と同数の40尾。隊長みたいにボロいリールを持ち込んで途中でハンドルが取れちゃったりするくらいなら（そんな人は少ないと思うけど）、手入れが行き届いているレンタルタックルを借りちゃったほうが賢明でしょう。借りたビシは、沖揚がりのときに残ったコマセをきれいに洗い流して、船長や仲乗りさんに返すのがマナーです。

★つり情報別冊『アジ攻略マニュアル』絶賛発売中!!

# シロート料理が自慢のお店です
Bgourmet diningroom
# Bグル食堂

◆五品目…飲んだ後のシメに最高！

## アジのまご茶
by ノブレンジャー

●熱いだしを回しかけて完成。胃に染み渡る感じで、しみじみとウマイです

### 作り方

**1：**アジを三枚におろし、皮を剥いて腹骨をすき取る（20センチくらいなら血合骨を取る必要はなし）
**2：**身を適当な大きさに刻む
**3：**薬味を細かく刻み、アジの身と和えるように包丁でたたく
**4：**タタキをタッパーに入れ、ショウガじょう油をザッとかけて冷蔵庫で寝かせる
**5：**ご飯に刻みノリを敷き、具を乗せる

●**材料**
アジ、（薬味、ショウガ、ミョウガ、オオバ、万能ネギなど）、ノリ、ご飯、しょう油

●今回釣ったアジは、おろしていると手がギトギトになるくらい脂が乗っていて、タタキにしたらさぞかしウマイだろうと、食べる前からヨダレが出っぱなし。タタキに目がないオイラは大量に作って芋焼酎のロックをチューチュー吸い込みながら、いただいたのでありますが、いやあ～まさに至福でしたね。

たっぷりと釣らせてくれた小沢船長に心から感謝して、船長の分まで飲んでおきました。

タタキが残ったら、あるいはいっぱい作ったら、まご茶にするのがおすすめで、「もうこれ以上は飲めません」ってころにズズーッとやると、これがウマイのなんの！

アジのうま味が溶け出した汁とご飯が絶妙で、思わずおかわりしたくなること間違いなし。飲み過ぎちゃった朝にもおすすめで、胃をスッキリさせてくれます。

ちなみに味噌でナメロウを作って、それにだしをかけてもウマイですよ。

※ノブ、いい加減にしとけ！ by編

### ニューノブの調理後記

●こなや丸の小沢一滋船長におすすめの調理法を伺ったところ、とにかく干物がイチオシで、20センチくらいのアジだと頭からバリバリ食べられて最高だそうです。

小沢船長が干物を作るときは、風味付けになんと塩水に大吟醸酒を入れるとのこと。

大吟醸酒仕立ての干物。さぞかしウマイんだろうなぁ～。でも、もし大吟醸酒が手に入ってもパック酒フリークのオイラはまず作れないだろうなぁ。確実に飲んじゃうもん。

Bgour☆Renger Report

## 釣り過ぎレンジャーより報告しまぁ～す

☆今回は子供も大人も大好きなアジフライにしてみました！

アジを背開きにして塩コショウを振り、あとは普通に揚げるだけなんですが、釣ったアジで作るアジフライは格別のおいしさ。一度食べると病み付きになります。

食べるときは定番のソースでもいいんですが、子供はタルタルソースが一番みたい。暑い時期は、さっぱりといただける大根おろし＆しょう油、または大根おろし＆ポン酢で食べるのもおすすめですヨ！